

参考値

福島第一 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果

(データ集約：10/4)

採取場所	1号機原子炉建屋上部 (原子炉上西側)		1号機原子炉建屋上部 (原子炉上東側)		1号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ上)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成23年10月3日 8時55分～9時25分		平成23年10月3日 9時40分～10時10分		平成23年10月3日 11時05分～12時05分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	2.2E-04	0.11	4.3E-04	0.22	6.7E-05	0.03	2E-03
Cs-137 (約30年)	2.9E-04	0.10	5.6E-04	0.19	7.8E-05	0.03	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

NDとは、 1×10^{-4} と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約6E-6Bq/cm³、Cs-134が約2E-5Bq/cm³、Cs-137が約2E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約4E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。